

第3回普代村まち・ひと・しごと創生推進会議

議 事 録

| | |
|-------------|--|
| 事務局 (道下) | <p>●開 会</p> <p>ご案内いたしました時間がまいりましたので、只今から第3回普代村まち・ひと・しごと創生推進会議を開会させていただきます。</p> <p>委員の皆様には、公私共にご多忙のところ、本会議にご出席をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>進行を務めさせていただきます、地域創生室の道下と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、人口ビジョン及び総合戦略（案）の最終審議を行う会議となります。第2回目の会議において、諮問させていただいた内容に、その後のパブリックコメントや住民懇談会等での意見を集約したものを、本日、皆様に最終（案）としてお諮りいたしまして、本会議からの答申をいただく内容となりますので、十分なるご審議を賜りますようよろしくお願い申し上げます。</p> <p>次に、本日配布しております資料について確認をさせていただきます。</p> <p>資料1、普代村まち・ひと・しごと創生推進会議委員名簿。</p> <p>資料2、普代村まち・ひと・しごと創生推進会議設置要綱。</p> <p>資料3、人口減少に関する意見の反映状況一覧（最終版）。</p> <p>資料4、普代村人口ビジョン（案）。</p> <p>資料5、普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）。</p> <p>また、本日各市町村の総合戦略策定状況ということで、日報の記事を掲載した資料がございます。</p> <p>資料は以上となっております。後ほど、順次、議事進行の中で使わせていただきますが、不足等ございませんでしょうか。</p> <p>無いようであれば、次第2、会長挨拶をお願いいたします。</p> |
| 会長 | <p>●会長挨拶</p> <p>委員の皆様には、ご多忙のところお集まりいただき、ありがとうございます。</p> <p>第2回目の会議では、普代村人口ビジョン（案）及び総合戦略（案）の諮問をいただいたところであります。</p> <p>本日の会議開催に至るまでに、本会議や議会議員各位からの意見聴取に加え、住民懇談会での説明、概要版の村内全戸配布による意見聴取、村ホームページによるパブリックコメントが実施されたところであります。</p> |

| | |
|-------------|---|
| | <p>本日は、それらの意見を反映した、最終案をご審議いただく会議となります。各協議事項をご審議いただき、本日、最終案として答申をさせていただきますという流れになります。</p> <p>より効果の高い、着実な推進がなされる総合戦略として答申してまいりたいと考えておりますので、十分なるご審議を賜りますようご協力の程よろしくお願い申し上げます。</p> <p>以上、簡単ですが、会長挨拶といたします。</p> |
| 事務局 (道下) | <p>ありがとうございました。</p> <p>議事に入る前にですね、本日欠席報告を頂いている委員の方々をですね、ご報告いたします。2番、普代村消防団三船委員、12番のいきいき岩手支援財団小守委員、14番、岩手日報久慈支局、小野寺委員、17番、普代村社会福祉協議会下道委員、18番、普代商工会青年部三田地委員、20番社会福祉法人普代福祉会大村委員の方々が欠席ということでご報告をいただいています。</p> <p>それでは議事に入らせていただきたいと思います。</p> <p>設置要綱第6条に基づき、議事進行につきましては佐々木会長にお願いしたいと思います。佐々木会長、よろしくお願いたします。</p> |
| 会長 | <p>●協議事項</p> <p>それでは、協議事項に入ります。</p> <p>協議事項の(1)普代村人口ビジョン(案)について、説明をお願いいたします。</p> |
| 事務局 (中村) | <p>地域創生室、中村と申します。どうぞ、よろしくお願いたします。</p> <p>(1)の普代村人口ビジョン(案)について、資料3、資料4を使用し、説明をさせていただきます。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">< (1) 普代村人口ビジョン(案) について説明 ></p> |
| 会長 | <p>ありがとうございました。以上で事務局からの説明が終わりました。</p> <p>ただいまの説明について、何かご意見・ご質問等は、ございませんか。</p> <p>ただいまの説明ですが、朱書き部分が前回からの修正箇所ということで、字句等の訂正、そして、総合戦略における基本目標の掲載順序を村の実情に合わせた目標順序に訂正しているところが主な部分のようでございます。</p> <p>これまでの会議で説明をいただいた、総合戦略の積極的な展開により、出生率を2030年までに1.8に、2040年以降に2.07まで回復させ、併せて社会増減ゼロの実現を図り、2040年に2,258人、2060年に1,856人程度の人口を確保するという「人口の展望」はそのとおりとなっているようでご</p> |

| | |
|---------------------|--|
| | <p>ございます。</p> <p>また、人口の展望が実現した場合の普代村の姿においても、「子どもから高齢者まですべての世代が生き生きと暮らす地域社会の実現」、「進化する産業と新しい人の流れの創出の実現」がもたらされるという「普代村人口ビジョン（案）」の内容となるようでございます。</p> <p>何かご意見・ご質問等はございませんでしょうか。</p> <p>それでは、お諮りいたします。</p> <p>協議事項（１）普代村人口ビジョン（案）について、原案のとおり答申することにご異議ございませんでしょうか。</p> <p>（異議なしの声）</p> <p>異議なしと認め、本案を最終案として答申いたします。</p> <p>次の協議事項に進みます。</p> |
| <p>会長</p> | <p>（２）の普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について、説明をお願いいたします。</p> |
| <p>事務局 （中村）</p> | <p>（２）の普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について、資料３と資料５を使用し、説明をさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;"><（２）普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について説明></p> |
| <p>会長</p> | <p>ありがとうございます。以上で事務局からの説明が終わりました。</p> <p>総合戦略の案について説明をいただきましたが、何かご意見・ご質問等は、ございませんか。</p> <p>ただいまの説明ですが、朱書き部分が前回からの修正箇所ということで、字句等の訂正、そして、総合戦略における基本目標の掲載順序を村の実情に合わせた目標順序に訂正しているところが主な部分のようでございます。</p> <p>また、これまでの本会議での説明内容に加え、各会議等で出された意見を反映させているという内容でございましたが、本推進会議からも２点ほどご意見が出されておるようございますが、それら部分についてのご質問等はございませんでしょうか。はい、橋本委員さん。</p> |

| | |
|-------------|--|
| 橋本委員 | 橋本です。パブリックコメントのところをいくつか拝見しているんですけど、1 ページ目の5 番は僕が書いたんですけども、この話は前回の会議の時もしたと思うんですけども、今回ちょっと書かせていただいたのは、くろさき荘の旧館ですか、別館ですか、廃墟状態になっている構築物があるんですね、そこにもちょっと触れているんですね。他のパブリックコメントへのご回答に関してですね、現在作業を進めている普代村アクションプラン案に具体的な取り組みについて盛り込みますという風書かれているんですけども、ここで書いた内容とは別にあそこをどういう場所として再活用していけるかということに関して、このアクションプラン案に盛り込まれるご予定なのでしょうか。ってのが1 つ目なんですけども。 |
| 会長 | 橋本委員さんからパブリックコメント、くろさき荘に関してのご質問でした。事務局の方、ただいまのご質問に関しての説明をお願いします。 |
| 事務局 (中村) | こちらの方も普代村のアクションプランの方には盛り込みたいと考えておりまして、普代村の方には通信基盤を有してはいるんですけども、やっぱり、光回線とか、そういったものに比べると、業者さんとかの使い勝手がまだまだ悪い部分がありますので、今回のインターネット環境の部分です、強化する取り組みを進めていければなと思っております。その他にもですね、観光関係の施策の方にも空き施設の有効活用の施策とかも出ておるので、まずその辺を別々のものとして事業で進める中で、将来的に結び付けていければなあと今のところ考えさせていただいております。 |
| 会長 | 橋本委員、よろしいでしょうか？ |
| 橋本委員 | すいません。あの、もうひとつだけあるんですけども、それはですね、やはりパブリックコメントの3 ページ目の12 番のところなんですけども、今、拝見して、これは私では勿論ないんですけども、あっ、しまったと思ってですね。これは、これこそ私が言わなければならないものだったと反省をしております。IT とかよくわからないので、わからないことを言うよりも、この12 番がですね、非常に重要だと思ったんですよ。ふるさと教育の推進というところ。で、これも普代村のアクションプランに盛り込みますとお書きになっているんですけども、これ、直してくれとかではなく、アクションプランの中でご検討頂ければと思うんですけども、対応する総合戦略の26 ページのところですね、26 ページの1 番最後の施策の専門的知識を育む環境づくりの推進に対応するという風にご回答はなっているんですけども、ちょっと苦しいなあという風に見ていましてですね、この施策の方は産業振興の事が中心で書かれていますので、多分このパブリッ |

クコメントを出された方はこの回答ではあまり満足なされないだろうと、僕もちょっと満足できないと思っておりました。直せとっている訳ではないです。ただ、26 ページは最後なので付け足すことはレイアウト上はあまり関係がないかなと思いますが、まあそうしてくれと言っている訳ではないです。施策 5 のところの専門的知識を育む環境づくりの推進っていうのが、産業的なことだけではなくて、もうちょっとその、ふるさととかです、郷土意識みたいなそういう風に拡げてですね、専門的知識というのは、郷土教育とか、専門的知識とか地元学とか、そういう地域そのものに関する知識とか思慮みたいなのここに拡がっていくと思うので、もうちょっと間口を広げてくれたらいいのかなという風に思いましたので、アクションプランの中でご検討いただけたらいいのかなと思いました。

それでですね、このパブリックコメントを拝見していて、思ったのは、今回全然出てこなかったと思ったのは、図書館の2階に歴史民俗資料館があるじゃないですか、私以前の職場が国の国立歴史民族博物館の民俗学展示をずっと仕事にしていまして、歴史民俗資料館の色々な、実際展示を作ったりもしたんですけども、もちろん何回も見に行ってるんですけども、誰もいないというか、誰もいったことのない、非常に昔のままで置いてあるので、例えばふるさと教育といった場合にですね、歴史民俗資料館といったものの活用は極めて重要で、この資料館の展示の技術というのもですね、いろんな専門業者が日本に何社もありまして、そういうところにお金を払ってやるとですね、どっかで見たような立派なものは、いろいろテクノロジーを使って作るっていうのはもちろんあるんですけども、必ずしもそういうのではなくてもですね、手作りでも、地元住民が自分たちで作っていくっていう、割とハンドメイドの展示っていうのも今結構そんなに予算を付けられる分野ではないので、教育委員会の管轄だったりするので、だけど、予算の少ない中で、非常に優れた展示っていうのは行われていて、そういう歴史民俗資料館の再活用もほとんどゼロの状態だと思いますので、あそこは多分非常に重要ではないかなと今、気づきまして、先に、正にそれが私の専門領域だなと気づいて後悔しているんですけども、更にいうと総合戦略の 52 ページのところ、公社設立に向けた観光センター改修事業ということで、このプロジェクトで、重点的な事業として人口減少対策プロジェクトチームの提言の中で三つほど挙げておられまして、52 ページの施策 14 というのはそのひとつに相当すると思うんですけども、これ、普代駅のヴァージョンアップのことだと思いますけども、例えばこういうところにですね、歴史民俗資料館の機能を持ってくるとか、例えば道の駅とか、そういうところに今、地域文化の展示とかは非常に増えています。

| | |
|-------------|--|
| | <p>例えば図書館の共同資料室みたいなものとかですね、歴史民俗資料館みたいなものを集中させるということはローカルアイデンティティを作っていくには非常に重要なと思いました。さらに、51 ページのまついその改修計画のところにも袖が浜ミュージアムってひっそり書いてあるのですが、これはもちろんあまちゃんの観光ということになるんでしょうけども、まあ、ちょっと、ミュージアムって言葉があったので、これは活用方法があると思うので、いずれもアクションプランの中で具体的なレベルでご検討いただけたら、コンテンツとして、ツールとして、意外とパワフルなコンテンツになるのではないかなあと思いました。以上です。</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございました。パブリックコメント 12 番のふるさと教育に関しての広い意味をもつての意見、それから、資料館の活用方法についてご意見をいただきましたが、事務局どうぞ。</p> |
| 事務局 (道下) | <p>ご意見いただきありがとうございます。まず、ふるさと教育の関係でございませうけども、26 ページ施策 5 にあります産業の幼少期からの教育といった内容でございませうけども、そのアクションプランの反映をですね、検討させていただきたいということで、この施策につきましてはこのままで進めさせていただければと考えおります。また、図書館 2 階の民俗資料館ですか、資料室、そちらのですね活用を含めたふるさと教育ということでのアクションプランを検討させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。観光センターの改修につきましてはまだ具体のものがございませう。まあ、担当課というか、構想的なものはございませうが、その際にそういったスペースも考えるようにですね、検討をさせていただければなと考慮しております。あと一点まついそについてでございませうが、正直ですね、この、利活用について早急に対応したいなと思っております。かなり施設の方も老朽化が進んでおりまして、崩れそうなところもあつたりですね、あと、用地の関係がございまして、そちらの用地のクリアしなければならぬところもあります。利活用につきましては今後皆様方からご提案等をいただきながらですね、進めて参りたいという風に考えております。そういった利活用等につきましても、毎年度この事業ですね、効果検証評価の中でお示しをさせていただければという風に思っておりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。</p> |
| 会長 | <p>橋本委員よろしいでしょうか。他にございませうでしょうか。はい。</p> |

| | |
|-------------|---|
| 下山委員 | <p>すいません。大したことじゃないのですが、総合戦略の4ページになりますが、将来人口の目標値のところで希望出生率2.07と書いてございますが、あれは合計特殊出生率または単に出生率のことでしょうか。2030年に希望出生率は1.08を実現して2040年に人口置換水準2.07を実現ということですので、単に出生率または合計特殊出生率のことかなあと。</p> |
| 会長 | <p>事務局どうぞ。</p> |
| 事務局 (道下) | <p>4ページですね。希望出生率(2.07)の実現ということでこちらは人口置換水準2.07ということで希望ではなく、合計特殊出生率の誤りでございましたので、こちらの方の訂正させていただきたいと思います。</p> |
| 会長 | <p>下山委員さんよろしいでしょうか。他になにかございませんか。 総合戦略の説明がございましたけども、先程の人口ビジョンと同じようにですね、修正箇所それからこれまでの本会議での説明内容に加えた意見を加え、各会議で意見を出されたもの等を反映させたというところでございます。他に意見はございませんでしょうか。 なにかご意見がございませんでしょうか。</p> |
| 事務局 (道下) | <p>最後の会議となりますので、ご意見の他にもなにかご感想等でも構いませんので一言お願いします。</p> |
| 会長 | <p>ということです。下橋場委員さんお願いします。</p> |
| 下橋場委員 | <p>後期の総合発展計画との整合性というか発展計画の見直しを、総合戦略にあったように総合発展計画の直しをするということですか。</p> |
| 事務局 (道下) | <p>ただいまのご質問は、総合発展計画の後期計画を今年度策定することになっていきますけども、当然、総合発展計画は上位計画になりますので今回の総合戦略を上位の総合発展計画に入れるという感覚で進めておりますので。はい。</p> |
| 下橋場委員 | <p>もう一点。具体的な予算の措置についてお伺いしたいとおもいます。</p> |
| 事務局 (道下) | <p>予算措置につきましてもこれからこの総合戦略のアクションプランにつきましても、役場若手職員と地域づくりアドバイザーからなる研究会、また、分野別に行いました住民との意見交換会、中学生との意見交換会、まちづくりアンケート等、様々な意見を踏まえた中でアクションプラン案を作成をさせていただきました。これから、この総合戦略のあくまで研究会のアクションプラン案ということで、資料編の方には付いておりますけども、今後総合戦略のアクションプラン案として事業を精査してですね、各年度、順次実施するという方向にあります。 関係する課等との個別のヒアリングなども行いまして、年度を定めて、予算措置をお願いするという流れになります。</p> |

| | |
|-------------|---|
| 会長 | よろしいですか。小野寺委員さんにかございますか。はい。橋上委員さん。 |
| 橋上委員 | 実は昨日ですね、久慈市の会議に出てきました。やはり久慈の方も昨日で終わりだったんですけど、普代村のコメントにおきましては、パブリックコメントがいっぱいあって、村のことについて一生懸命考えているんだなあと思いました。それから、反映状況につきましても、市は意見が出たうちのひとつくらいしか A というのがなくて、後は ABCD 四項目のほとんどが D みたいな形で聞く耳持たない感じだったんですけど、それからすればよく考えているのかなあと思います。でも、久慈市の最終的な部分においてもですね、専門の人たちが文章を作って書いているので、書くことはできるだろうけども、実際やるのが一番大事なので、やる部分についてがんばってほしいという話でした。なかなかこういう厚い資料で意見がバンバン出るといのはなかなか出ないと思うのですが、久慈市も普代村も考えている問題は大体同じだと思うので、目標に向かってがんばってほしいと、このように思います。 |
| 会長 | ありがとうございました。お褒めの言葉なのか、ちょっとあれですが、事務局さんどうぞ。 |
| 事務局 (道下) | ありがとうございます。ちょっと戻らせてもらいまして、農協の支店長さんからですね、今日の岩手日報に青年給付金の関係が載っていましたが、管内の状況等をお聞かせいただければと思います。今年度増えているというような内容だったと思いますけども、状況とかもしわかりましたら。 |
| 小野寺委員 | ちょっとわからないですね。申し訳ございません。 |
| 事務局 (道下) | あーそうですか。はい。 |
| 会長 | はい。それでは、野田口委員さんにかございますか。 |
| 野田口委員 | 特にはないですけども、目標がですね、わかりやすく示されてこの目標にむかってこれからが大変だなあと思うんですが、その辺の進め方というか、チェックの流れというか、その辺の説明をしていただければと。 |
| 会長 | はい、ありがとうございます。目標は高いが進め方をどうするかというようなご質問かと思いますが。 |
| 事務局 (道下) | 事務局長さんの今のご質問は PTCA でしょうか。今回あの、策定の最後の会議ということでこのプランが決定という風な形となっていく訳でございます。あの、これから、先程、下橋場委員さんからもお話がありましたますが、そのプランをさらに精査して、具体的な事業として、みなさまにお示 |

| | |
|-------|---|
| | <p>しをすると。当然予算の伴うものでございますので、28年度以降の予算、開発計画などで、計画上にその事業が挙げると。毎年度策定後は本会議におきまして、効果の検証に至ることとなっております。時期的には三月を予定しておりました。そこで効果検証をいただいて、評価の上で、更に今年度、その事業を目標値に近づけるように進めるという風な感じで、ちょっと抽象的な感じではございますけども、なるべくすればそのように進めていこうと考えておりますけども、こういった回答でよろしかったでしょうか。</p> |
| 会長 | <p>野田口委員さんよろしいでしょうか。それでは佐々木委員さんよろしくお祈いします。</p> |
| 佐々木委員 | <p>あの、今日は観光協会という立場で立たせていただいておりますけども、実際、課としての、くろさき荘とか、まついそとか、観光センターとかいう大きい部分が関わってきますので、これからどうやって続いていくのかなとちょっと考えておりますけども、来年の人員の配置の方も、創生室の方からあの、よろしくお祈いします。以上です。</p> |
| 会長 | <p>はい、なんか、自分の仕事の立場の話でございましたが、行政機関の方で調整をしながら進めていっていきたくてこのように思っております。それでは高屋敷委員さんなにかございますでしょうか。</p> |
| 高屋敷委員 | <p>いつもありがとうございます。ハローワークの高屋敷でございます。一点だけ教えて頂きたいんですけども、人口減少対策に対する具体的な取り組みについてと、その中での地域経済活性化へ向けて力を入れるべき取り組みについて、年代別30歳以下では正規雇用の拡大、雇用のミスマッチの解消を選ぶ人が44.7%で最も高くなっているということでございますけども、正に私共職業安定行政が今、一番力を入れているのが、この非正規雇用が全体で40%ぐらいになっていると、特にこの管内では有効求人倍率が0.91に対して、正規雇用有効求人倍率が0.52倍ということで県平均よりも大きく下回って非常に低水準というような状況がある訳でございます。ですから私共は非正規求人を正規雇用に転換していただくということで事業主さんをお願いをしているところなんですけども、こういったアンケートをみても非常に高い割合で回答があるということで、その中の総合戦略の25ページで具体的な施策毎の重要業績評価指標の施策の2新たな雇用の場の創出ということで、この中で村の玄関口となる普代村観光センター施設および周辺施設の魅力ある環境整備を推進し、新たな雇用の場の創出を図りますというようなところなんですけども、その辺この、正規雇用の拡大等とのリンクといいますか、繋がりといいますか、その辺もし、今の時点でわかる範囲で結構ですが教えていただけないでしょうか。</p> |

| | |
|-------------|---|
| 会長 | はい、ありがとうございました。ただいまの質問なんですけども、人口減少対策の関係で、雇用の場の創出についての質問でございます。事務局お願いします。 |
| 事務局 (道下) | はい、ただいま頂いたご意見でございますが 25 ページ、施策 2 新たな雇用の場の創出ということでございました。先ほど橋本委員さんの方からもお話がありました。52 ページ、人口減少対策プロジェクトチームの提言書の施策 14 公社設立に合わせた観光センター改修事業ということで、村の特産品、またその産業を強化すると、6 次産業化を含めた形です、そういった公社の設立を目指したいと考えております。その中で雇用も創出されるということでの施策 2 の重要業績評価指標目標数値となっております。具体的な事業につきましてはまだお示しできる段階ではございませんので、まず、こういう方向で村の施策を進めて参りたいということでございます。いまの回答でよろしかったでしょうか？ |
| 高屋敷委員 | 是非、正社員での雇用をひとつよろしくお願いします。 |
| 会長 | よろしいでしょうか。それでは、隣の高屋敷委員さんにか。 |
| 高屋敷 副会長 | はい、まず、しばらくぶりで何か考える機会を与えて頂き、委員ということでこういう会に参加させて頂きましてありがとうございます。なかなかこう、村のことについて、あるいは地域のことについて考えることが最近あまりなくなってきておまして、こういう感じに、皆さんがこういうことを話し合える場が増えることがいいことではないのかなと思っております。過去もまあ色々総合発展計画とか、時の代表者が変わりますと、一億総なんとかとか色々あるわけですが、その都度、色々なビジョンとか、そういうのを作成してやってきたのですが、なかなか普代の人口も増えることなく減ってきている訳ですし、産業もその通りではないのかなと思っております。なんとかですね、今回、こういう人口ビジョンなり創生総合戦略なりを作った訳ですので、やっぱりあの、時の代表者は村長だと思っておりますけども、本気になってやろうとする気持ちが無ければなかなか周りが騒いでもゆるくないのかなあと思うので、この答申の中でも、そこら辺を一言加味して、本腰になってやっていただきたいというようなことを一言加えていただければいいのかなあと思っております。いくらかでも人口減少に歯止めが掛かれば普代の村もまた活気がいくらかでも出てくるような気もしない訳でもないと思いますので、そこら辺も答申の中で合わせて入れていただければなあと思います。以上です。 |
| 会長 | はい。ありがとうございました。高屋敷委員さんの、本気になってやれという意見だったと思います。事務局、なにかありましたら。 |
| 事務局 | 高屋敷委員さんありがとうございました。肝に銘じまして、今後事業の |

| | |
|-------------|--|
| (道下) | 方を実施しまして、数値に達するように努力して参りたいと思いますので、引き続き今後もよろしくお願いいたします。 |
| 会長 | よろしいでしょうか。はい。次に畠山委員さんにかございましたか。 |
| 畠山委員 | 指名されるのはとても緊張するので嫌なんですけども、例えばいま、村政懇談会とかをやっているんですけども、そこで各地区から小さな要望、大きな要望あると思うんですけども、そういうのもこの地域創生の方の予算に盛り込める感じに取れるのですが、そういう風に理解してよろしいですよ。 |
| 事務局 (道下) | 今月 15 日から昨日までですね、11 箇所におきまして、普代村村政懇談会をして参りました。その中で様々なご意見ご要望等頂戴いたしました。その予算的な部分につきましては、この総合戦略へ反映するところは当然反映して行きますが、国からの交付金と致しますと、ハード事業は対象外という風になります。あくまでソフト事業。ソフト事業あるいはハード事業一体的なものの計画の中には盛り込んでおります。アクションプランにつきましても、ソフト事業を主とし、それに伴うハード事業一体的なものであればその具体的な事業として盛り込むということでございますので、主に創生懇談会でのご意見ご要望はですね、土木工事的なものが多くございます。7 割、8 割がそういった土木工事ハード事業でございますので、それ以外の分につきましては、ほとんど総合戦略の方に盛り込んだ形となっておりますので、ご理解を頂きたいと思っております。 |
| 会長 | 畠山委員さん、はい。 |
| 畠山委員 | すいません、ソフトを絡んだようなハード事業であればということであれば、総合戦略の 29 ページにある、例えば高齢者や障がい者の暮らしを支えるというところで総合的な活動施設の設置促進とあるんですけども、ここで世代間交流、高齢者等の生きがいや暮らし、まあ高齢者を囲んで若い世代の人たちと一緒に交流しながら健康づくりをしたりというところで公民館が絡んでこれないかなあとふと思って聞いてみました。 |
| 会長 | よろしいですか。はい、事務局さん。 |
| 事務局 (道下) | 集会施設等、活動拠点になる施設の整備でございますけども、こちらの施策 2 重要業績評価指標が活動拠点形成数、目標数値が 5 箇所になっております。想定しておりますものは、地区の集会施設が 3 箇所ほど入っております。本来はソフト事業ということでございますけども、この施設を整備することによってもたらされる効果というのが、本来の業績指標でございます。アウトプット、アウトカムということで、アウトカム指標を KPI に設定するものが原則なのでございますけども、具体的なものがこの施策、 |

| | |
|-------------|---|
| | <p>全体的な施策として設定できないということでこの拠点形成数 5 箇所となっております。ソフトの部分につきましては、先程から何回もあれですけど、今後精査しながらですね具体的な事業として考えておりますので、黒崎地区のみなさんどうぞよろしくお願いたします。</p> |
| 会長 | <p>よろしいですか。ハード面も若干入っているというお話でございますので、ご了解をいただきたいと思います。次に下道委員さんにか。</p> |
| 下道委員 | <p>私は、全体的に難しくてわかんなくて、ただ高屋敷さんみたいにやっていただきたいというのじゃなくて、東国原さんじゃないですけども、本当にどうにかしなきゃならないという気持ちをもって暮らしていたので、自分もなにかしないとならないという気持ちがあるので、やっていただきたいとは言いません。なにかやれることがあったら、私もう本当に。少しでも、決まったものでも言いたいのですが、若い世代の結婚出産の部分の計画期間が 5 年もあるんですけども、そのうちに年をとって行って出産もどうなんだろうという年代にもなっていくと思うので、そういうのの希望を叶える村というのであれば、そういうのをもう伝えていくべきだと思うんです。それでそういうのをどんどん利用してもらって、そういうのが人口問題にもつながってくるのだと思いますし、そういうものの取り組みをもうして行ってほしいというところです。</p> |
| 会長 | <p>はい。ありがとうございます。下道委員さんは事務局の考えも必要だけれども、住民自体、本人が、それぞれが重要性をもっと考えた方がいいというご意見だと受け止めております。それに伴っての出生率の計画等を進めていければというような意見でございますがよろしいでしょうか。</p> |
| 事務局 (道下) | <p>下道委員さんはこの推進会議の委員を募集したところまずはじめにご応募いただいた委員さんでございまして、本当に感謝をしております。今のお話を伺いましてさらに心強くですね、これからの行政の事業の進め方につきましても、ご指導いただきながら早急に対応していかなければならない部分が多々ございますので、ぜひぜひご指導賜りますようよろしくご指導願います。</p> |
| 会長 | <p>下道委員さんよろしいでしょうか。それでは荒木委員さん、なにかございましたら。</p> |
| 荒木委員 | <p>最初にこの会議に出るにあたって実はここの村でなにかできることはないかちょっと考えました。で、例えばくろさき荘を拠点として、地域滞在型の観光をできないか考えたんですけども、なかなかそういうのをやるのは若い方に考えてやってもらうのがいいかと思ひまして。27 ページを見て思ったんですけども、2025 年、つまりこれからは老人年齢だけ増えるんです。それ以外は減っていくんです。で、この老人になった人たちがお荷物</p> |

| | |
|-------------|--|
| | <p>になるということだけはしないようにしなければならないというのが現在の私の考えです。で、例えば村の中で結婚とか色々なが進まないということのひとつに楽しく生きるという、周りの人たちがとても楽しそうに生きている見本が必要だと思うんですけども、3分の1にもなる老人が人のお世話になって生きている姿を見て、若い人たちが果たして初来に希望が持てるのか、と思うんです。で、あの、ここの意見にも出したんですけども、本当に今日、明日にでも老人の自立とかお世話にならないようなものを活動していかなければならないと。で、事務局の方にお伺いしたいのですが、多分、老人の健康問題とか取り組んでらっしゃると思うんです。ただ、わからないんです。我々。どのようなことを取り組んでいるのか。で、具体的にわかるのはイキイキ体操といって金曜日、毎年後半のただ、黒崎からは二人くらいしか出席していないんですけども、そういうことではなくて、こちらから積極的に一軒一軒うちを回って、ともかくみんなで活動しようじゃないかという組織を作らなければならない。そういう組織を言えば作りたいたいんですけども、まったく方法がわからないんです。で、もし提案していただければ明日にでも、伺います。どこにでも、一軒一軒のうちにも行くくらいの気持ちはあるんですね。なんだけども、わからないんです。で、保健センターの方だろうかそういった福祉課の方なのだろうか実は日々思っているところです。</p> |
| 会長 | <p>はい。ありがとうございます。人口問題、特に老人のあり方、元気な老人を維持していくにはどのようにしていけばいいのか、若い人の世話にならないようにしていく活動方法があるのかという質問でした。事務局さん。</p> |
| 事務局 (道下) | <p>ありがとうございます。総合戦略の30ページの施策2にもございます。先ほど活動形成拠点となっておりますが、こちらの方にも記載のありますようにですね、村内の世代間交流と高齢者が生きがいや暮らしに安心を感じ元気に生活、そして高齢者が活躍する機会を創出するというための活動拠点形成数でもございます。高齢化が進んで、老年人口が減少するというグラフになっております。ここの施策2の目標数値と言いますか、当然これは健康寿命の延伸でもあるという風に考えております。そういった意味ですぐにでもですね、荒木委員さんと今後そういった具体的な取組等のお話をさせていただきまして、関係する課が住民福祉課かと思っておりますけども、交えましてですね、どういった活動ができるかどうかなんですけども、機会を設けさせていただきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。</p> |
| 会長 | <p>はい。ありがとうございました。荒木委員さんよろしいでしょうか。一通りと言いますか、皆様のご意見をいただきました。これに対して事務</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>局さんの方、最終案はできあがっているのですが、これに反映して、今の意見をですね、また更に反映しながら、より良い物を作っていくという形になりましょうが、まあ、とりあえずはこれが最終案ということで今後必要に応じて申請をしていくということになると思います。その他、何かご意見ございますでしょうか。はい。橋本委員さん。</p> |
| 橋本委員 | <p>ごめんなさい。最後にちょっと。今日これを伺って、拝見しましてですね、先程橋上委員さんからもお褒めの言葉をいただきましたけども、私もかなり同感でして、道下室長、中村係長を中心としてですね、非常にうまく進めてこられたんだらうなあという風に思うんですね、78ページの経過を見ますと、非常に周到に進めておられるのがよくわかるんですけども、この推進会議が行われるのと同じ日にですね、地域創生研究会っていうのが庁内の若手の職員を中心に地域づくりアドバイザーの参画も得て進めて来られて、まあ、ずっと並行的に進めて来られているという、これ非常にうまくなさったんだらうなと、かなり感心しています。お疲れ様でした。それでね、あの、やはり先ほど高屋敷（副会長）さんがおっしゃられてたんですけども、最終的に、あるいはむしろ最初にかもしれませんが、首長の強力なリーダーシップというのは当然必要になってくると思うんですけど、そうした時にここまで良く順調に進めて来られているので、この、進め方の話なんですけども、やっぱりアクションプランはですね、まあ、これだと絵に描いた綺麗なモチなんですけども、アクションプランを策定して、プランだけではなくて、同時にアクションを起こして結果を出すかという、そこが当然重要で、そうした時に首長のリーダーシップって当然すごく重要だとは思いますが、で、そうした時にですね、やはりこういう計画っていうのは、やっぱり綺麗な絵なので、なかなかこれだけでは本当なのかと、誰でも村民の方たち、いままでこういう事業を形を変え繰り返し繰り返しそういった状態で行ったと思うので、そうした時に先ほどの佐々木委員さんもお自分の管轄のところでおっしゃいましたけども、まついそとか、駅前の観光センターとか、くろさき荘とか、幾つか具体的な場所ですよ、で、このイメージというか事業計画を具体的に体现できるような拠点施設というのかな？いま、そういうのを新たに作るなんて言うハコモノ行政の時代ではないんですけども、既にあるものを改修したり、整備したりすることによって、こういう事業を絵に描いた餅ではなく、実際に形になるものにしていく時にそうしたものを象徴的に示す集約的な拠点施設というのは必要ではないのかなと思うんです。これ、事業の推進っていうのもそうですし、村民の理解を広く得る、あ、ちゃんとやってるんですねーと思ってもらえる為にも非常に重要ではないのかなっていう風に</p> |

| | |
|-------------|---|
| | <p>思うんですね。で、どっからやっていくのかっていうですね、例えばいくつか今、頭の中に浮かんだ拠点について言いましたけども、そこから、どういう風に手掛けていくのかというところが今後大事な部分だろうという風に思うんです。それで、やはりそうした時にですね、アクションプランから最終的にアクションにもっていく時も、今回も、こういうやり方ですよ、ある意味両輪を動かしながら回してられる、これ、非常に良いやり方だと思うので、今後もですね、アクションプランを作っていかれて、実際動かしていられる時も、こういう体制をずっとなさっていくのは、非常に理解を得やすいし、なんか実現しそうな感じがその時思わせるのは非常に重要なことだと思うので、ぜひ、最終的な形にたどり着くまで、ぜひ御進め頂けたら非常に良いのではないかなあという風に思いました。お疲れ様でした。</p> |
| 会長 | <p>はい。ありがとうございます。首長のリーダーシップが大事だと。それから総合計画の推進拠点が必要ではないか、また、それに伴っての進め方が大事だと。プランをアクションにしなければならないという風なご意見でございましたが、事務局さん。</p> |
| 事務局 (道下) | <p>78 ページですか、策定までの経過で、結果こういう風な策定のスケジュールで進めてきたわけでございますけども、正直、タイトなこの 10 月いっぱいでの策定ということで、タイトなスケジュールの中で進めさせていただきました。本部会議であったり、研究会であったりを重ねながらですね、忘れないように進めてきたわけでございます。今後もですね、プランからアクションに繋がるというような間を置かないような取り組みを進めて参りたいと思っております。後、活動拠点につきましても、まついそがあったり、くろさき荘があったり、観光センターもあつたりします。地域創生の中では新たな施設というよりはそういった既存の施設をどういう風に地方の創生につなげる施設にするかというところが見せ所だという風に私も考えております。ぜひそういう風な方向に進むようにですね、取り組んで参りたいと考えております。今後、ぜひぜひご協力をください。最終的には予算という風になりますので、橋本先生のほうからもですね、バックアップいただければ事業も進んでくると思いますのでよろしくお願ひします。</p> |
| 会長 | <p>橋本委員さんよろしいでしょうか。他にございませんでしょうか。はい、畠山委員さん。</p> |
| 畠山委員 | <p>すいません、私も最初ですね、この会議っていうのができるということで委員になって、はじめてこの会議に来た時に果たしてどういう風になるのかなあとすごい心配したんですけども、やっぱりいままで、いろんなこ</p> |

| | |
|---------------------|---|
| | <p>れに似たような事業の中で、字にするだけでなかなか形として見えないというか、期待しながらもそこまでいかなかったということの繰り返しだったかと思うので、今回どうなるのかなあと思ったのですが、今回の最終版を見て、なんかこうワクワクするというか、期待するところがあってすごくいいなと思ったんです。それで、もう少し、この、関係ある人たちだけじゃなくて住民全体が、普代は危機っていうか、危機ではないけど、前より元気になるっていうか、そういう村にしようよっていう住民がもっともところ、身を感じるような展開の仕方を、お忙しい中あれですけども、あの、してくれれば、それこそお年寄りの人たちも、ただ年をとっていただくだけで、次はホームの順番は自分だという風な気持ちにならないでもう少し現役として考えたら、若い者はそこから教わってくるものも出てくるし、昔のことは老人でなければわからないので、前の元気な普代村を若者に伝えてくれるような老人を作ったりとか、年寄りが根腐れないようにっていうか、そんな感じでまた、若い人たちも、普代を好きでいてくれる、残りたいという気持ちでいてくれるような、住民がそのような意識を持てるような事業の展開を盛り込んでくれたら、なんかもう少しこれに向かってみんなが一丸となっていくような気がするのでお願いしたいと思います。</p> |
| <p>会長</p> | <p>はい、ありがとうございます。畠山委員さんは計画だけで終わらず、計画に沿って進めてほしいというお考え、それから、住民全体が親身になって今の問題にみんなで考えていくような進め方が必要だというご意見でございます。全くその通りではないかなと思います。老人のことについて、先程、荒木委員さんからも出た訳でございますけど、子供から老人までという考え方だと思いますが、そういった計画もですね、私もすっかりはあれですけども、この中でも、色々な分野で出ると思います。改めて事務局の考えをお願いします。</p> |
| <p>事務局 (道下)</p> | <p>ありがとうございます。人口ビジョンの最終案の27ページに普代村地区別人口推移将来推計ということでグラフが載っております。村全体で、2010年国勢調査人口3088人が2040年、この30年間で830人減少します。減少しますというか、そういう推計でございます。これは人口ビジョンの合計特殊出生率2.07社会増減0を実現した場合でもこのような減少でございます。年々ですね、人口は減少して参ります。参りますが、この人口減少を悲観するのではなく、先程畠山委員さんがおっしゃったように町が元気に、人が輝くような事業を進めていけばですね、魅力あるこの普代村に益々なっていくと考えております。そういった事業をですね、展開して参りますので、ご協力をお願いしたいと思います。</p> |

| | |
|-------------|--|
| 会長 | はい、畠山委員さんよろしいでしょうか。その他ございませんでしょうか。なければですね、ここでみなさんにはここでお諮りをしたいと思いますがよろしいでしょうか。 |
| 会長 | それでは、お諮りいたします。 協議事項（２）普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について、原案のとおり答申することにご異議ございませんでしょうか。 （異議なしの声） 異議なしと認め、本案を最終案として答申いたします。 |
| 会長 | 以上、本日の協議事項は、全て終了をいたしました。 次の進行は事務局にお返しいたします。 |
| 事務局 （道下） | ありがとうございました。 一部ですね、総合戦略の中でご指摘がありました、希望出生数のところを訂正したものであるということになります。ありがとうございました。 次に次第４の答申に移らせていただきたいと思うんですけども、ここで５分間お時間を頂きたいと思います。休憩の時間とさせていただきたいと思います。１５分から次第の４に移らせていただきたいと思いますので、しばしお待ちください。 |
| 事務局 （道下） | みなさんお集まりのようでございますので、次第４の答申に移らせていただきたいと思います。佐々木会長から柗屋村長へ答申させていただきます。それではお願い致します。 |
| 会長 | ●答 申 平成 27 年 10 月 29 日付け、普代村長、柗屋伸夫様。 普代村人口ビジョン及び普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略について（答申）。 平成 27 年 10 月 7 日付け普総第 143 号をもって、当会議に諮問された普代村人口ビジョン及び普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略について、慎重審議した結果、原案を可とし答申いたします。 今後、村内外の社会情勢の動向なども十分留意し、毎年の評価、検証を実施され、その結果に基づき必要に応じた総合戦略の見直しを行うとともに、 |

| | |
|-------------|--|
| | <p>本戦略の基本目標のもと、着実な執行を図られるよう併せて要望します。 普代村まち・ひと・しごと創生推進会議、会長、佐々木康雄。 よろしくをお願いします。</p> |
| 事務局 (道下) | <p>それでは、桎屋村長から一言ご挨拶をお願い致します。</p> |
| 村長 | <p>佐々木会長様をはじめといたしまして、委員の皆様には、これまでの3回の真剣なご審議誠にありがとうございました。ただいま賜りました答申への要請も含め、しっかりと受け止めさせていただきました。早速本日にも本部会議を招集いたしまして全部署でこの趣旨などを共有をし、正式決定を進めて参ります。また、来月から第4次の総合発展計画の後期計画、あるいは過疎計画、開発計画など、今後5年間の計画の策定を致すこととしております。答申のありました総合戦略の各施策がしっかりとこれに盛り込まれていくよう、努めていく所存でもございます。どうか、委員の皆様方におかれましては、毎年の効果等の検証はもとより、スローガンにもございました、まちもひとともいつも元気でそして輝き、仕事も暮らしもよりしやすくある取り組み推進をされるよう、今後も引き続きご指導、そしてご協力を賜りますよう、お願いをさせていただきます。人口ビジョンそして総合戦略の答申を賜りました御礼とさせていただきます。どうもありがとうございました。</p> |
| 事務局 (道下) | <p>●事務連絡 次第5、事務連絡でございます。 本日の答申を受け、本日開催予定の普代村地域創生・人口減少対策本部会議において、普代村人口ビジョン、普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略として正式決定し、公表並びに国・県への報告をさせていただきます。 また、総合戦略の計画期間中、毎年3月に本推進会議において、その効果検証及び評価を行っていただくこととなります。来年の3月中に第4回推進会議の開催を予定しておりますので改めてご案内をさせていただきます。 なお、前回ご説明いたしました、先進地視察につきましては、本推進会議からは産業団体さんや村内の推進委員さんのご協力を賜りたいと考えておりますので、11月上旬には担当者よりご連絡をさせていただきますので併せてご協力の程よろしくお願いたします。</p> |
| 事務局 (道下) | <p>●閉 会 それでは、以上をもちまして、第3回普代村まち・ひと・しごと創生推進会議を終了させていただきます。 長時間にわたりまして、ご審議を賜り、誠にありがとうございました。</p> |

